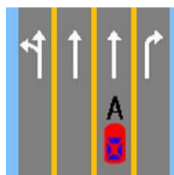
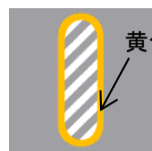
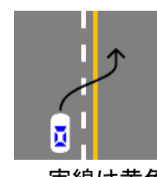
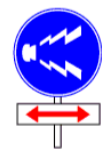


第1段階学科教習勉強用問題7

- 問題 1 大型特殊免許か普通免許、準中型免許を受けて通算2年以上経過している者は中型免許を受験することができる。
- 問題 2 交差点で右折しようとする場合に、その交差点で直進か左折をする車や路面電車がある時は、自分の車が先に交差点に入っている場合、その進行を妨げてはいけない。
- 問題 3 この標示は、立ち入り禁止部分であることを示している。
- 問題 4 運転者は、同乗者が降りる際、ドアの開け閉めまで注意をする必要はない。
- 問題 5 踏切内でエンストした時、マニュアル車では、あせらずエンジンをかけ直し、それでもダメな時は非常手段としてギアをローかセカンドに入れ、セルモーターで動かすことができる。(クラッチ・スタートシステム装着車は除く)
- 問題 6 この標識と標示は、どちらも同じ意味を表している。
- 問題 7 同一方向に二つの車両通行帯がある時は、普通自動車は、右側の車両通行帯を通行しなければならない。
- 問題 8 子供がひとりで歩いている側を通る時は、徐行するだけでなく必ず一時停止をする。
- 問題 9 この合図を後方から見た場合は、左折する時の合図である。
- 問題 10 普通免許では、普通自動車、小型特殊自動車、原動機付自転車を運転することができる。
- 問題 11 自動車を運転する時は、有効な運転免許証(仮運転免許も含む)を所持しなければならない。
- 問題 12 この標識は、どちらも同じ意味を表している。
- 問題 13 前の車が自動車を追い越そうとしている時であっても、追い越すのに十分な余地があれば追い越しをしてもよい。
- 問題 14 交差点において、進行方向の信号が黄色の灯火の点滅をしている場合は、必ず一時停止しなければならない。
- 問題 15 交差点やその付近を通行中、緊急自動車近づいてきたので、その場に直ちに停止した。
- 問題 16 この図のA車は、右折するために右側へ進路を変更することができる。
- 問題 17 道路の曲がり角付近や上り坂の頂上付近やこう配の急な下り坂は、徐行場所である。
- 問題 18 車両通行帯のあるトンネルでは、追い越しをしてもよい。
- 問題 19 車の内輪差(曲がる時に、後輪が前輪より内側を通ること)は、速い速度で右折または左折する時だけ生じるので、徐行しながら交差点を右折または左折する時は、内輪差を考えた運転をする必要はない。
- 問題 20 このような警察官の灯火の信号は、矢印の交通に対しては、黄色の灯火の信号と同じ意味である。
- 問題 21 仮運転免許を受けた者が練習のため運転する時は、その車を運転することができる第二種免許を取得している者を横に乗せて指導を受ければ、その者の運転経験年数に関係なく運転できる。
- 問題 22 初心運転者(普通免許や準中型免許を受けてから1年を経過していない者)は、「初心者マーク」を車の前後の定められた位置につけなければならないが、貨物自動車を運転するときはつけなくてもよい。
- 問題 23 この二つの標識は、どちらも車両の進入(通行)禁止を表している。
- 問題 24 車から降りるためドアを開ける時は、まず少し開けて一度止め、前後の安全を確認する。
- 問題 25 大型免許又は中型免許を受けようとする者は、普通免許の運転経験が2年以上あれば受けることができる。
- 問題 26 この標示は、前方に優先道路があることを表している。
- 問題 27 道幅が同じような道路の交差点では、路面電車や左方からくる車がある時は、その路面電車や車の進行を妨げてはならない。
- 問題 28 シートベルトは、エアバックが備えられている車に乗る場合は、締めなくてもよい。
- 問題 29 この標識のある区間内では、左右の見通しの悪い交差点や見通しの悪い曲がり角、見通しの悪い上り坂の頂上付近で警音器を鳴らさなければならない。
- 問題 30 前方の信号機の信号が青色であるが交通が混雑しているため、そのまま進行すれば交差点内で止まってしまい、交差点の交通を妨害するおそれがある時は、交差点に進入してはならない。
- 問題 31 交差点を左折する時は、左側を通行している歩行者や自転車を巻き込まないように、あらかじめできるだけ道路の中央に寄り、交差点の中心のすぐ内側を徐行しなければならない。
- 問題 32 この標示のある所では、矢印の方向へ進路変更することができる。
- 問題 33 運転者が疲れていると、危険を判断するまでに時間がかかるので、空走距離が長くなる。
- 問題 34 障害物がある場所ですれ違う時は、障害物のある方を進行する車が、優先して通行することができる。
- 問題 35 横断歩道または自転車横断帯やその付近で停車している車の側方を通り、その車の前を出るときは一時停止して安全を確認しなければならない。
- 問題 36 この標識は、車両の横断と転回をすることができないことを示している。
- 問題 37 道路の左側部分の幅が通行のため十分でない時は、右側部分に全部、または一部はみ出して通行することができる。
- 問題 38 踏切を通過しようとする時は、警報機が鳴っても、しゃ断機が降り始める前であれば、通過することができる。
- 問題 39 地理不案内の場所を走行中、目的の場所や道路を見つけた場合、合図を出すと同時に進路変更するのは危険である。



黄色の線



実線は黄色



問題 40 オートマチック車のチェンジレバーがD(レンジ)のときのクリープ現象とは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでいないと、アクセルペダルを踏まなくても自動車がゆっくり動き出すことである。

問題 41 車は、この信号に変わった時に停止位置に近づいていて、安全に停止することができない場合は、そのまま進むことができる。



問題 42 路線バスなどが方向指示器などで発進の合図をしている時でも、まだ発進する前であれば、後方の車はバスなどの前方に出てもよい。

問題 43 横断歩道のない交差点やその近くを横断している歩行者がいる時は、警音器を鳴らし、注意をうながして通行するのがよい。

問題 44 この標識は、この先の道路の幅員が減少していることを表している。



問題 45 他の車が右折するため道路の中央や右端に寄って通行している時や、路面電車を追い越そうとする時は、その左側を通行する。

問題 46 正しい運転姿勢をとるためのシートの前後の位置は、クラッチを踏み込んだ時、膝が伸びきった状態に合わせるとよい。

問題 47 普通自動車は左折する場合や工事などでやむを得ない場合などを除いて、この標識のある車両通行帯を通行してはならない。

問題 48 道路に面した場所に入出入りするために歩道を横切る場合は、歩行者の通行を妨げる恐れがなければ一時停止しなくてもよい。



問題 49 空走距離とは、運転者が危険を感じてからブレーキが実際にきき始めるまでに車が走る距離である。

問題 50 住宅街を走行中、前方に見通しの悪い路地が近づいてきたので、警音器を鳴らして進行した。

第1段階学科教習勉強用問題7 解答

↓ りしゅうばんごう きょうしゅうこうもく お か きょうほん しら べんきょう
履修番号を教習項目に置き換えて、教本で調べて勉強してください。

問題 1	○	履修番号 10	問題 26	×	履修番号 3
問題 2	○	履修番号 6	問題 27	○	履修番号 6
問題 3	○	履修番号 3	問題 28	×	履修番号 1
問題 4	×	履修番号 1	問題 29	○	履修番号 8
問題 5	○	履修番号 6	問題 30	○	履修番号 4
問題 6	○	履修番号 3・5	問題 31	×	履修番号 6
問題 7	×	履修番号 4	問題 32	○	履修番号 8
問題 8	×	履修番号 7	問題 33	○	履修番号 5
問題 9	○	履修番号 8	問題 34	×	履修番号 9
問題 10	○	履修番号 10	問題 35	○	履修番号 7
問題 11	○	履修番号 10	問題 36	○	履修番号 8
問題 12	×	履修番号 3	問題 37	○	履修番号 4
問題 13	×	履修番号 9	問題 38	×	履修番号 6
問題 14	×	履修番号 2	問題 39	○	履修番号 8
問題 15	×	履修番号 5	問題 40	○	履修番号 5
問題 16	×	履修番号 6・8	問題 41	○	履修番号 2
問題 17	○	履修番号 5	問題 42	×	履修番号 5
問題 18	○	履修番号 9	問題 43	×	履修番号 7・8
問題 19	×	履修番号 6	問題 44	○	履修番号 3
問題 20	×	履修番号 2	問題 45	○	履修番号 9
問題 21	○	履修番号 10	問題 46	×	履修番号 1
問題 22	×	履修番号 10	問題 47	○	履修番号 5
問題 23	○	履修番号 3	問題 48	×	履修番号 4
問題 24	○	履修番号 8・運転教本	問題 49	○	履修番号 5
問題 25	×	履修番号 10	問題 50	×	履修番号 8

☆見直しのポイント

不正解だった問題やわからなかった問題は、なぜ「○」なのか、なぜ「×」なのかを学科教本を使って理解できるまで勉強しましょう。→問題で覚えると、問題文が変わるとわからなくなります。